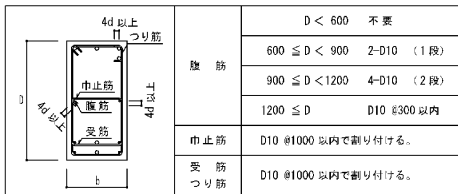
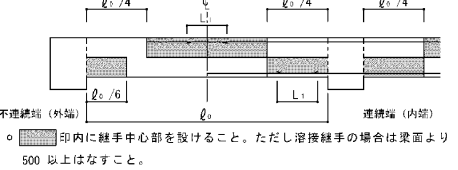


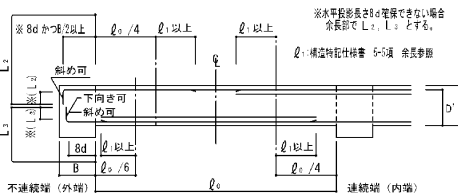
鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２） ２０２２年度版

4-4
補助筋4-5
小梁及び片持梁

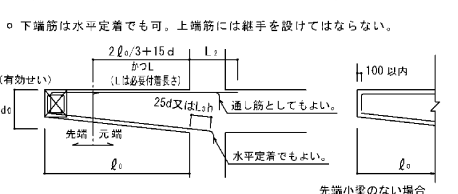
a) 小梁継手



定着



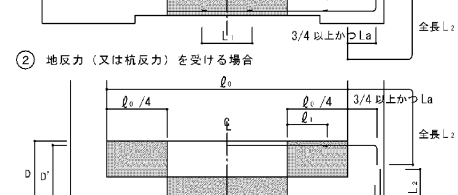
b) 片持梁継手

4-6
基礎梁及び基礎小梁

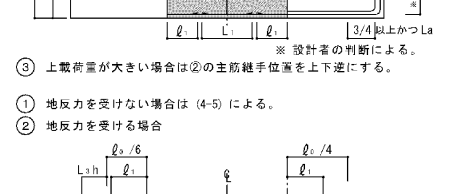
a) 基礎梁の継手及び定着



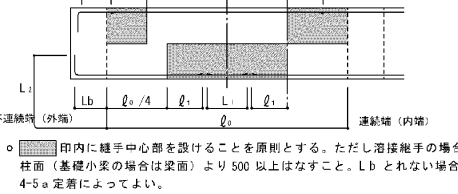
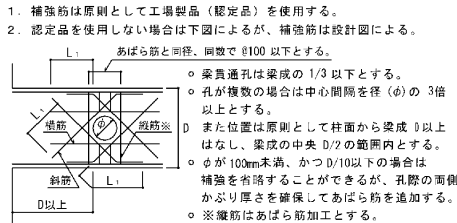
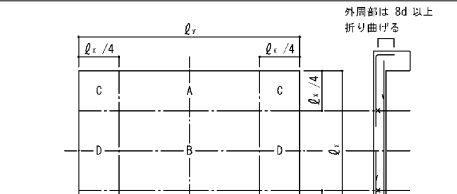
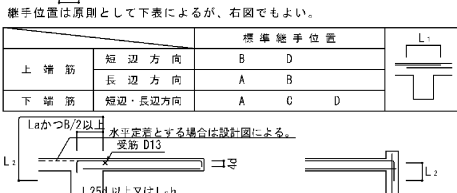
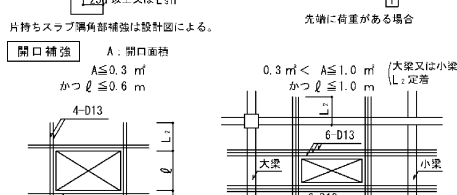
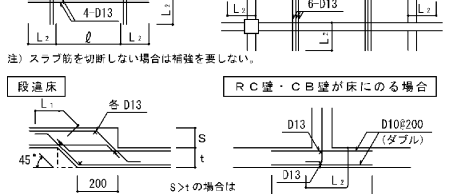
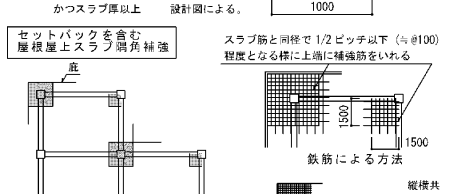
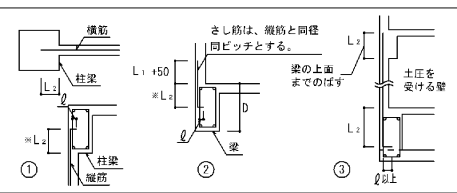
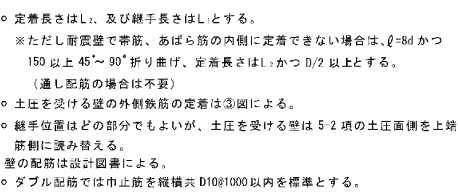
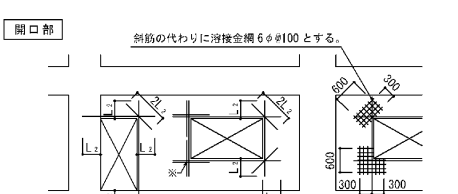
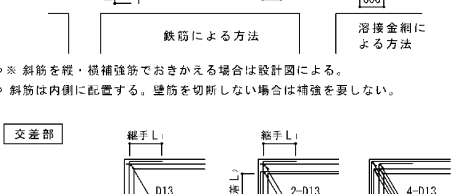
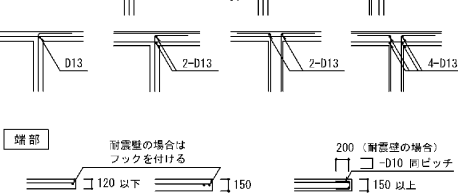
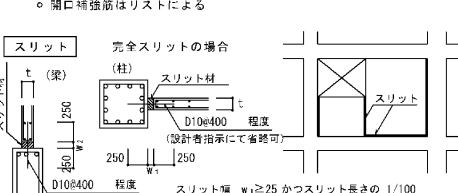
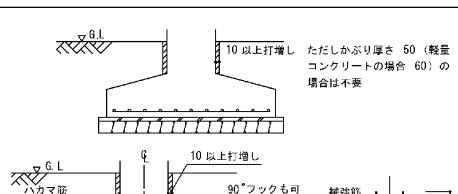
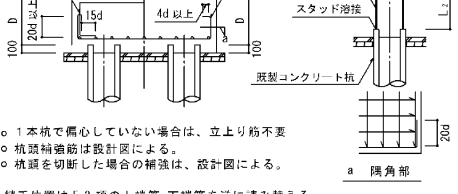
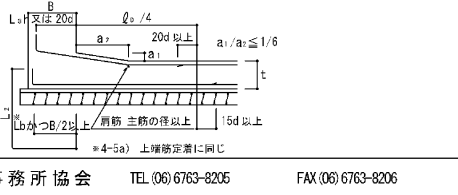
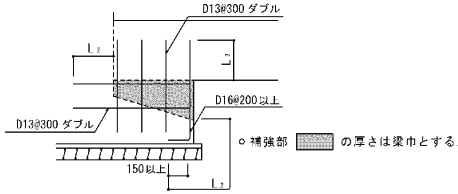
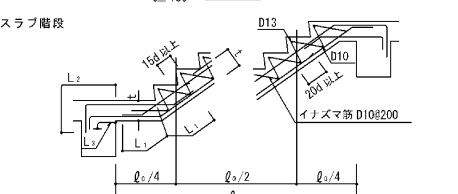
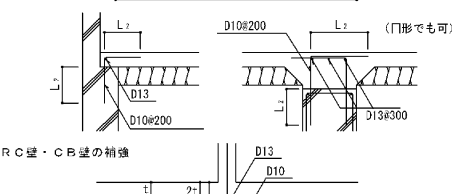
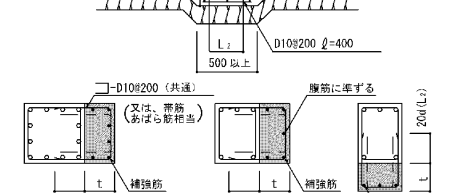
b) 基礎小梁の継手及び定着



c) 基礎小梁の継手及び定着



d) 基礎小梁の継手及び定着

4-7
梁の貫通補強5-1
鉄筋の折り曲げ及び定着5-2
継手5-3
片持ちスラブ5-4
補強筋6-1
定着及び継手§ 5
スラブ§ 6
壁6-2
壁配筋6-3
補強筋7-1
独立基礎7-2
杭基礎7-3
べた基礎継手及び定着§ 7
基礎7-4
基礎と基礎梁7-5
基礎と基礎梁7-6
基礎と基礎梁8-1
階段8-2
土間コンクリート8-3
打増し補強8-4
増築予定

(販売元) 一般社団法人日本建築構造設計事務所協会連合会

<http://fasc-net.jp>

(発行元) 一般社団法人関西建築構造設計事務所協会

TEL (06) 6763-8205

FAX (06) 6763-8206

<http://www.kse-web.com/>

2022年2月1日作成

(不許複製)



坂井建築設計事務所

工事名称

木之本地区雪寒基地新築工事

図面名称

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 図 2

SCALE

APPROV'D

CHECK'D

DRAWN

CHARGE

SEAL

DRAWING NO

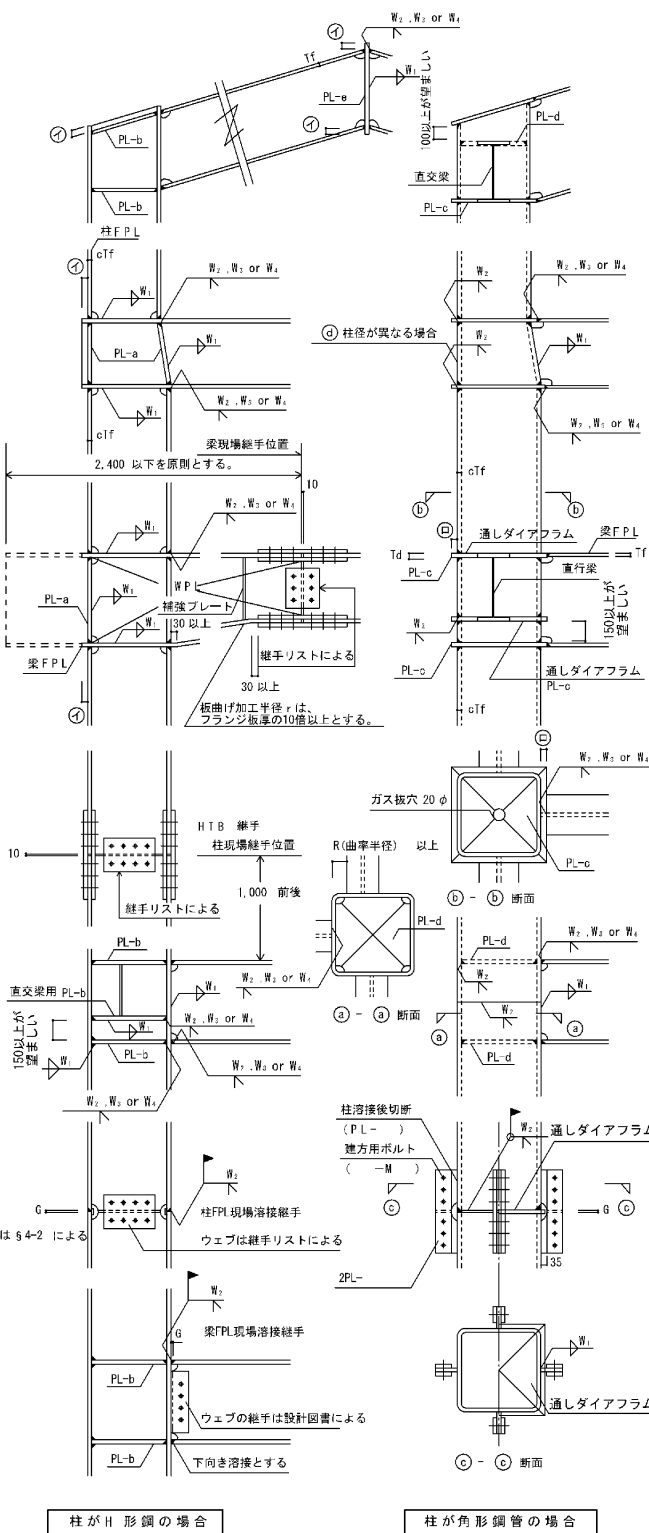
S 03

15

K-eins 1級建築士事務所滋賀県知事登録第A-1310号 1級建築士第152848号 構造設計1級建築士第2338号 平塚政己

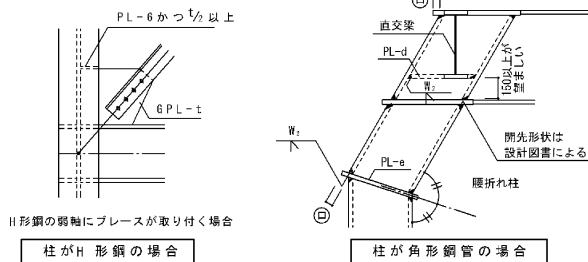
鉄骨工作標準図 (2) 2022年度版

§ 6 柱梁接合部及び継手

6-1
勾配屋根6-2
梁通し6-3
仕口と継手6-4
柱通し6-5
現場溶接継手

柱がH形鋼の場合

柱が角形鋼管の場合

6-6
その他

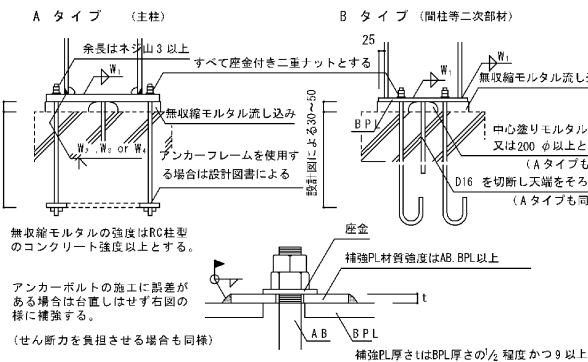
H形鋼の弱軸にブレースが取り付く場合

柱がH形鋼の場合

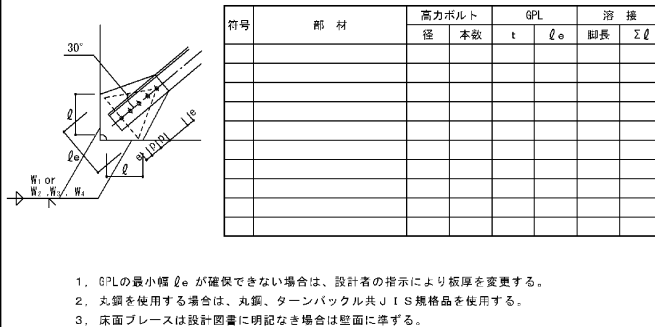
柱が角形鋼管の場合

- 1) パネルゾーンのPLの厚さ
- PL-a (鉛直ステフナ) 上下柱のFPLの厚い方より1サイズUP以上
 - PL-b (水平ステフナ) 仕口部に集結する梁の最大FPLより1サイズUP以上
 - PL-c (通しダイヤフラム) 仕口部に集結する梁の最大FPLより2サイズUP以上かつ柱のFPL以上
 - PL-d (内ダイヤフラム) 仕口部に集結する梁の最大FPLより1~2サイズUP以上
 - PL-e (折れ曲がり部) 梁(柱)のFPLより1サイズUP以上
- 2) 寸法
- ㊦ 25 mm かつcTf以上
- ㊧ cTf≦25の場合 25
- cTf≧28の場合 30
- 3) 注記
- ダイヤフラムの材質は特記仕様書による。特記なき場合は、接続する柱及び梁の1ランク上質とする。また接続する柱及び梁の強度及び材質の異なる場合は、強度は大きい方に同じとし、材質は上の方の1ランク上質とする。
 - ㊦(6-2項)上下階で柱径が異なる場合の板厚は上下階柱の厚い方、材質は上下階柱と同質以上とし、折曲げ加工又は溶接加工とする。
 - ハンチングでFPLを折曲げる場合はR≧10Tfとし補強プレートを入れる。ただし、勾配のゆるい場合(1/6程度)は不要。
 - ダイヤフラムと梁フランジの溶接部は、梁フランジはダイヤフラムの厚みの内部で溶接すること。(参考1464)
 - 現場溶接を行う場合は工事監理者の承認を得、養生に十分配慮して行うこと。

§ 7 柱脚

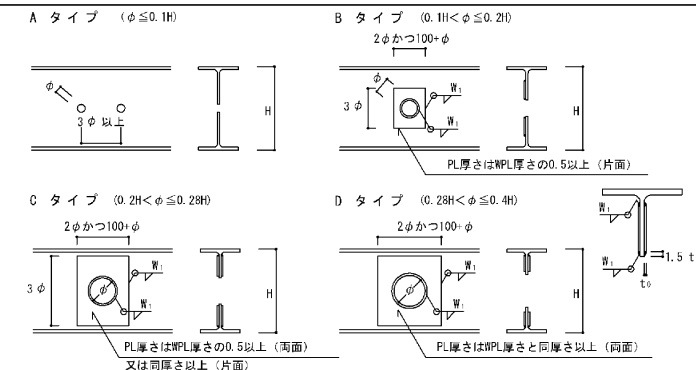
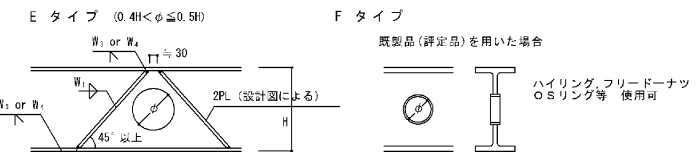
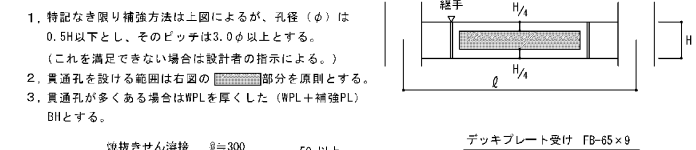
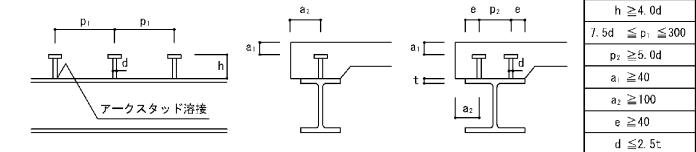
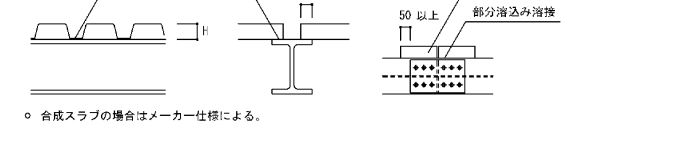
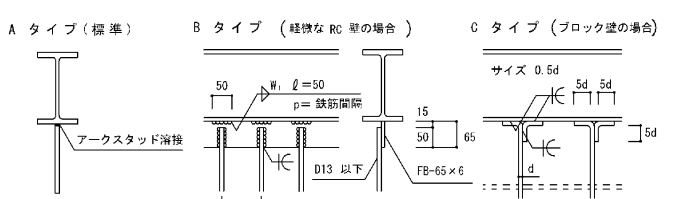
7-1
一般柱脚

§ 8 壁面ブレース

8-1
ブレースリスト

1. GPLの最小幅 ℓ_0 が確保できない場合は、設計者の指示により板厚を変更する。
2. 丸鋼を使用する場合は、丸鋼、ターンバックル共JIS規格品を使用する。
3. 床面ブレースは設計図書に明記なき場合は壁面に準ずる。

§ 9 その他

9-1
貫通補強9-2
デッキプレート9-3
スタッドジベル9-4
壁筋の溶接h, p₁, p₂ 設計図書による。9-4
壁筋の溶接(販売元) 一般社団法人日本建築構造設計事務所協会連合会 <http://fasc-net.jp>

(発行元) 一般社団法人関西建築構造設計事務所協会 TEL(06)6763-8205

FAX(06)6763-8206

<http://www.kse-web.com/>

2022年2月1日作成 (不許複製)



坂井建築設計事務所

工事名称 木之本地区雪寒基地新築工事

図面名称 鉄骨工作標準図-2

1級建築士登録 第157111号 坂井 久泰

SCALE 8 APPROV'D CHECK'D DRAWN CHARGE SEAL DRAWING NO

(A1) (A3) S 05/15

(角形鋼管仕様)

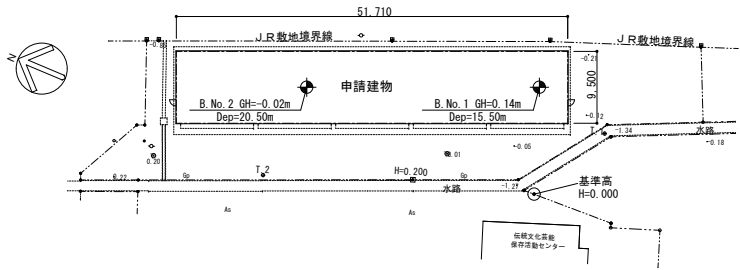
広 島 TEL 0823-70-0721 FAX 0823-70-0722

4. 溶接施工

地質調査資料

設計GL = 基準高+250

※ボーリング調査実施位置を示す
B.No.1～2






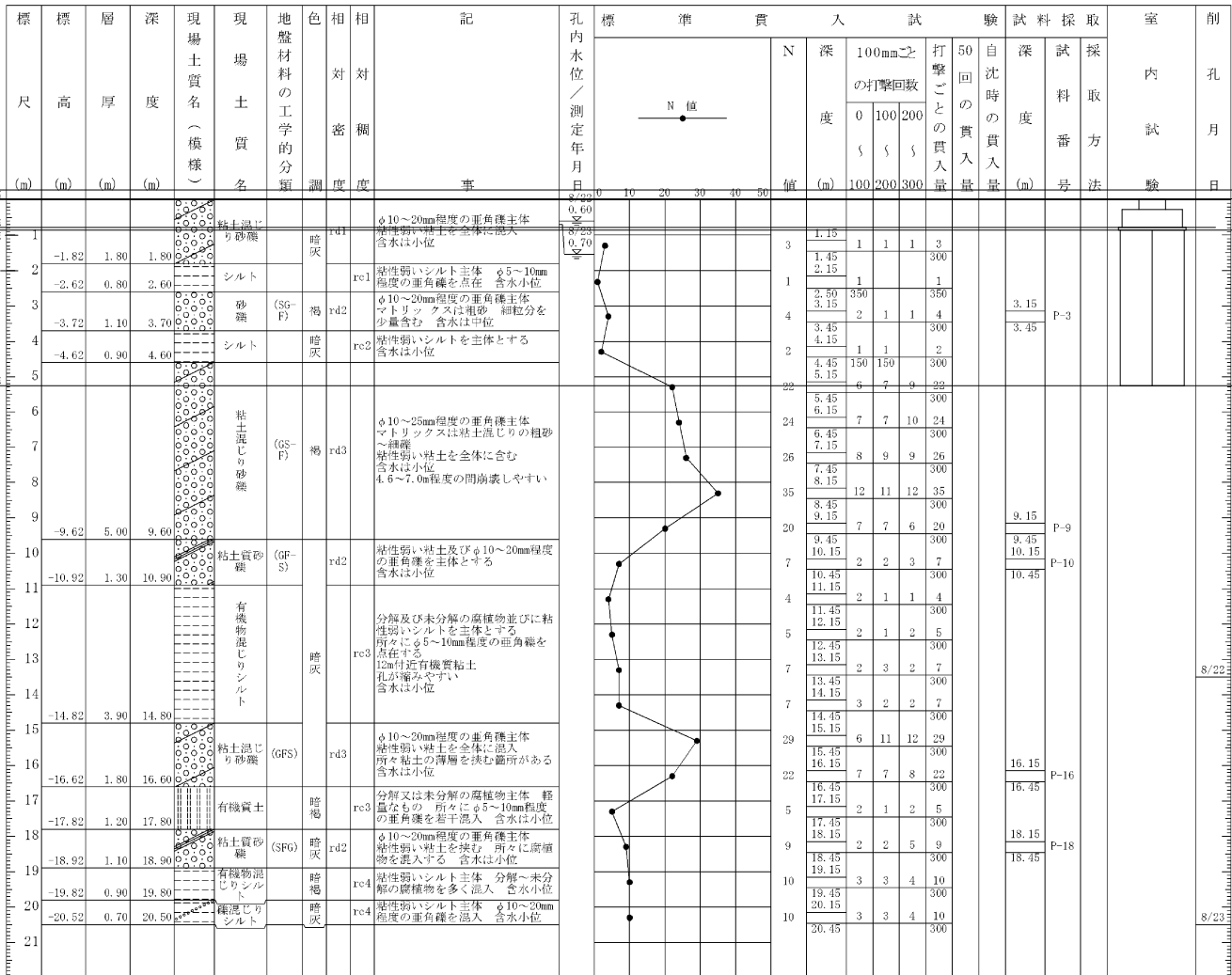
土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 令和4年度 北建委第26号 木之本地区雪寒基地新築工事設計業務委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	No.2		調査位置	滋賀県長浜市木之本町木之本				北緯	35° 30' 11.3000"					
発注機関	滋賀県長浜市			調査期間	令和04年08月22日～				東経	136° 13' 22.0000"				
調査業者名	坂井建築設計事務所 電話(074-973-2144)		主任技師	坂井 久泰		現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者	瀬戸 力也				
孔口標高	H=-0.02 m		角			方位			地盤勾配			使用機種	試験機 東邦地下工機製 D-1	
総削孔長	20.50 m		度	0°		位	0°		エンジン	ヤンマー製 NFD12		ポンプ	カノ製 V-6	



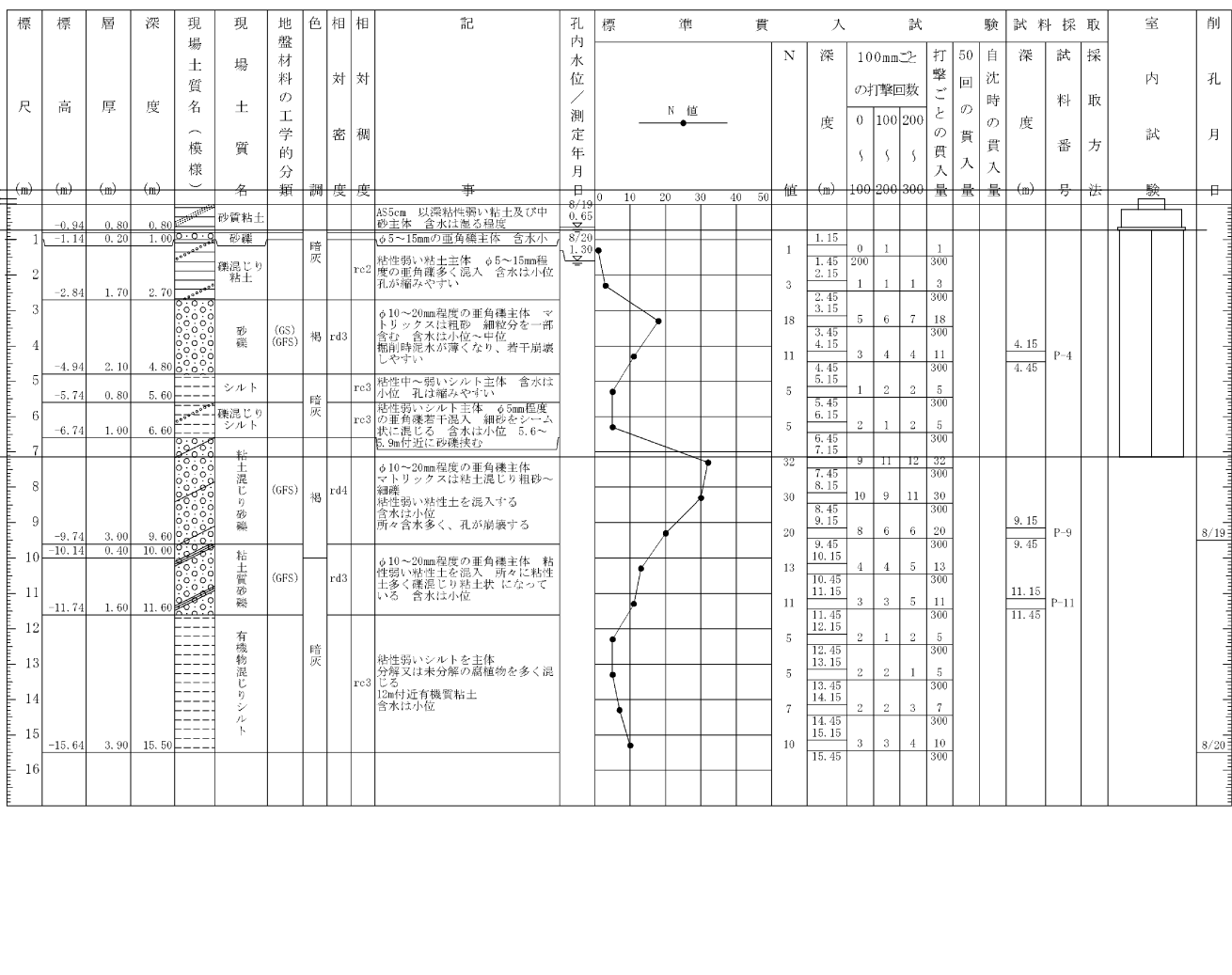
土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 令和4年度 北建委第26号 木之本地区雪寒基地新築工事設計業務委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象

ボ ー リ ン グ 名	No.1		調査位置		滋賀県長浜市木之本町木之本				北 緯		35° 30' 10.4000"					
発 注 機 関	滋賀県長浜市				調査期間		令和04年08月19日～				東 経		136° 13' 22.5000"			
調 査 業 者 名	坂井建築設計事務所		主任技師		坂井 久泰		現 場 代 理 人				コ ア 鑑 定 者		ボーリング責任者		瀬戸 力也	
角	180° 90° 0°		方		北 0° 270° 180° 90° 0°		地盤勾配		水平 0° 90° 0°		使用機種		試験機		東邦地下工機製 D-1	
孔 口 標 高	H=-0.14 m												エンジン		ヤンマー製 NFD12	
総 削 孔 長	15.50 m												ポン プ		カノ製 V-6	



坂井建築設計事務所

工事名称

木之本地区雪寒基地新築工事

図面名称

地質調査資料

滋賀県長浜市大寺町1003番地5

TEL 0749-73-2144

FAX 0749-73-2238

1級建築士登録 第157111号

坂井 久泰

SCALE(S) APPROVED CHECKED DRAWN CHARGE SEAL DRAWING NO

(A1)

(A3)

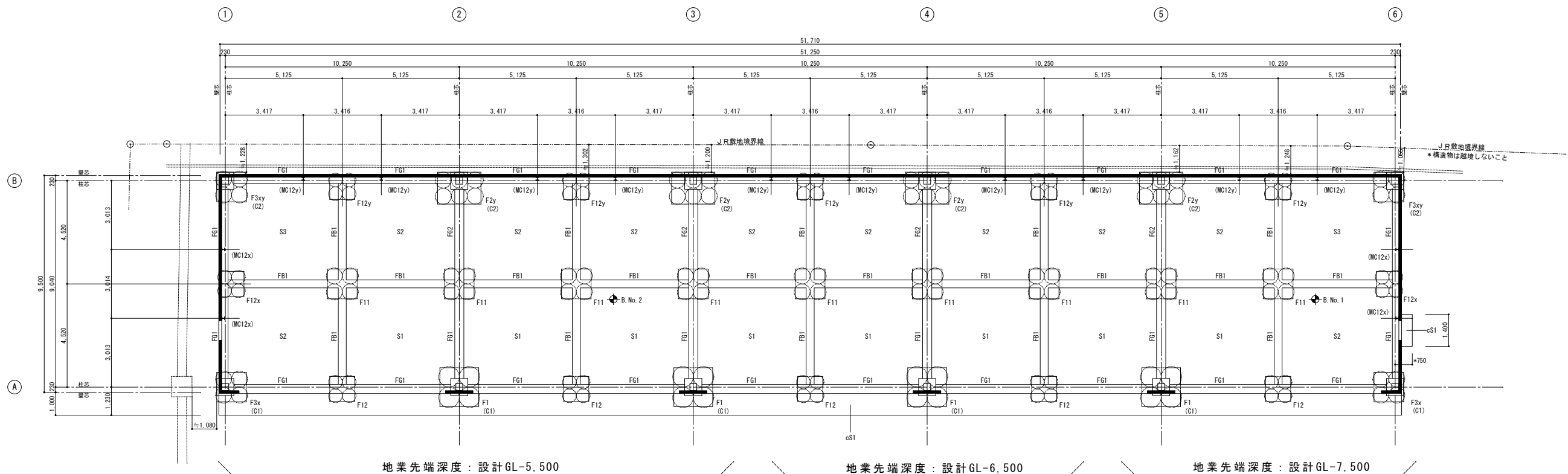
S

08

15

構造仕様

基 礎	独立フーチング基礎	鉄 筋	D16以下：SD295 (JIS G3112) 重ね継手
	地束		D19以上：SD345 (JIS G3112) がスリ接または溶接継手のいずれかとする
	コラム径		梁貫通 原則として設備配管は、基礎梁上部または下部で行うものとし、梁貫通は行わないものとする
	地束先端深度	コンクリート	設計基準強度
	設計支持力度		Fc24 (躯体コンクリート)
	設計基準強度		Fc18 (捨てコンクリート)
	固化材配合量		
	試験		
	水固化材比	鉄 骨	主柱
	固化材		間柱
	設計GL		大梁・小梁
	地質調査		継手・仕口仕様
	支持層		柱の脚部
	監督員は着工に先立って「試験掘等」による支持層の確認を行い、必要に応じて設計の変更を行うものとする		柱脚の保護
	高力ボルト		



基礎伏図 1:100

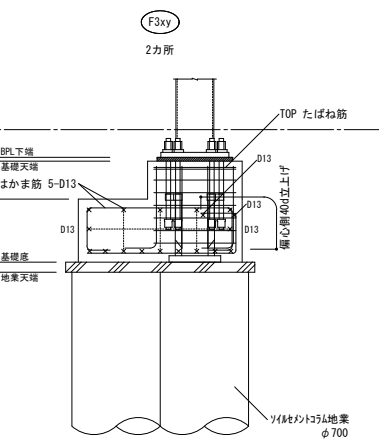
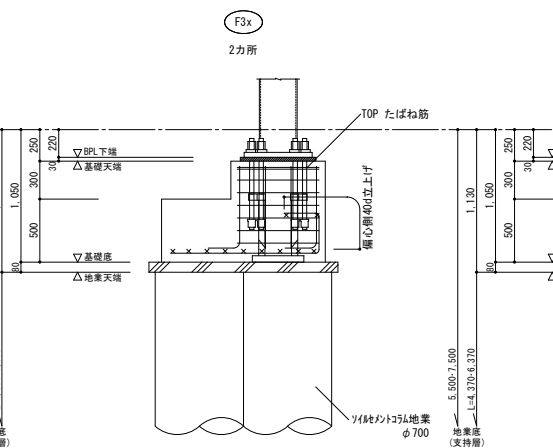
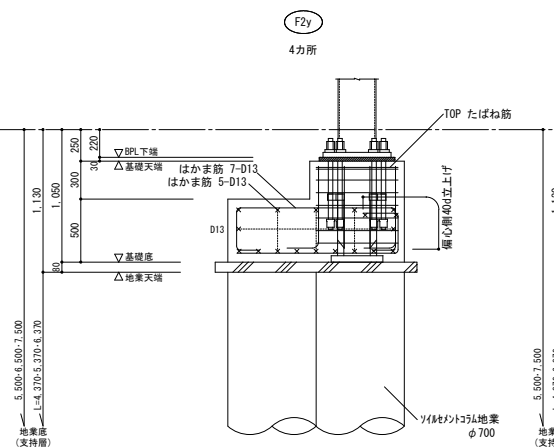
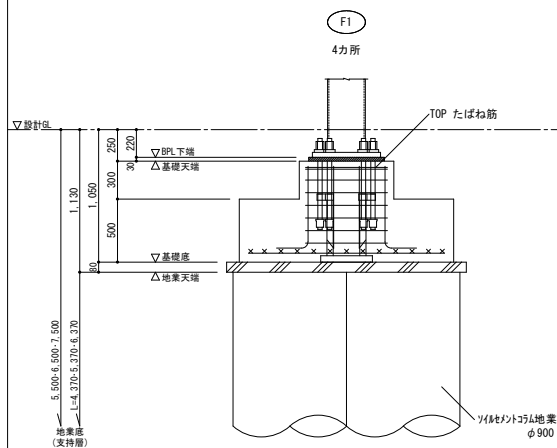
・変更のある場合は、設計者と事前協議のうえ承認を得ること

 : 立上りコンクリート(白抜き部分は開口部を示す)
 鉄骨柱などのクリアランスは“15mm以上”とする

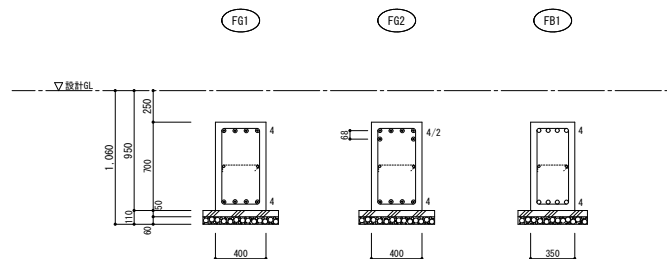
B. No. 1~2

: 柱状改良地業を示す(接円配置)

基礎

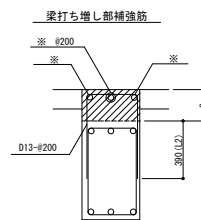
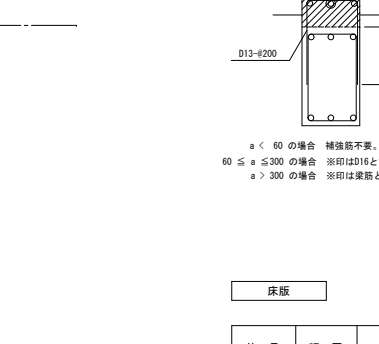
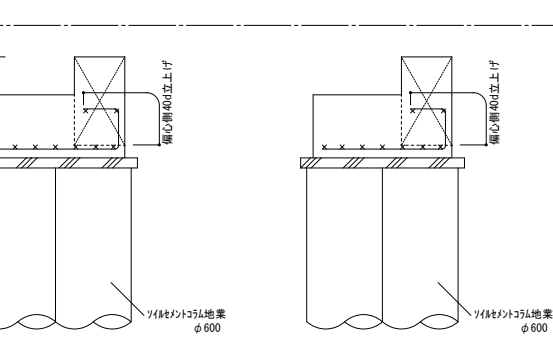
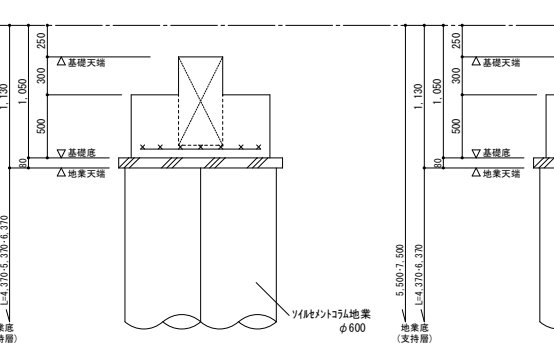
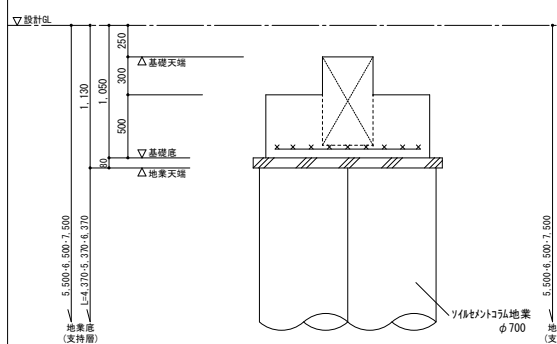
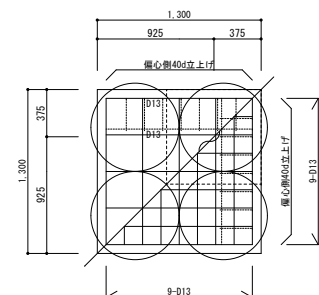
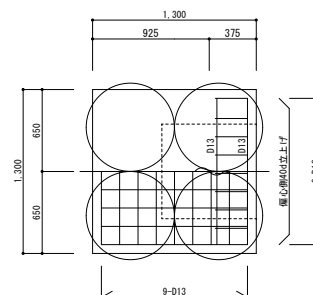
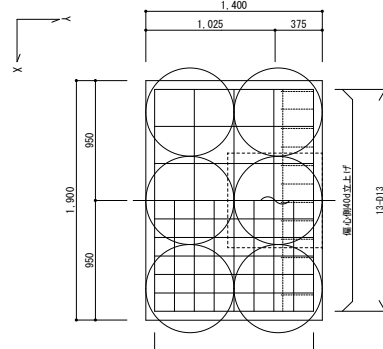
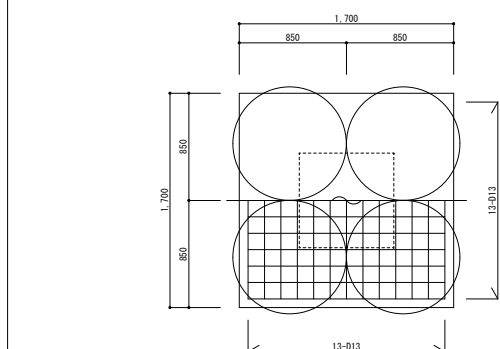
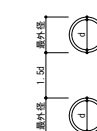


あばら筋は片隅フック・フック先曲げとする



Б * D	400*700	400*700	350*700
上端筋	4-D25	6-D25	4-D22
下端筋	4-D25	4-D25	4-D22
肋 筋	D13#150	D13#150	D13#200
腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10
幅止筋	D10#1000	D10#1000	D10#1000

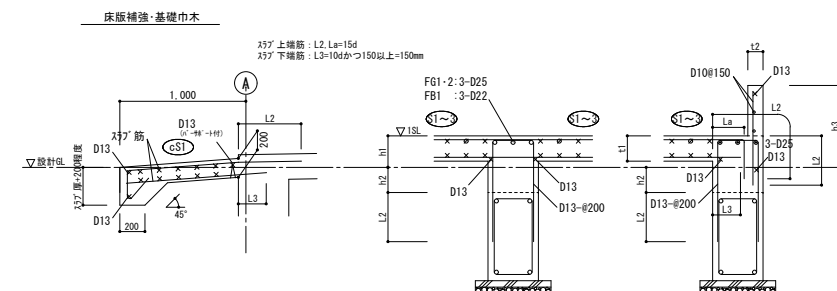
二段筋のあきは、 $1.5d$ とする



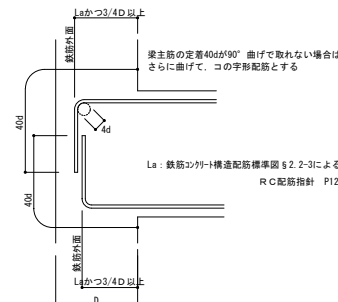
a < 60 の場合 補強筋不要。
60 ≤ a ≤ 300 の場合 ※印はD16とする。
a > 300 の場合 ※印は梁筋と同径とする。

各部寸法		定着長 L2 ※折曲げ位置は実幅の1/2を超えること					
t1	200	2折り+1強度 Fe	L2	D10	D13	D16	折
t2	150	18 (土間・立上り)	40d	400	520	640	(
h1	100~250	21	35d	350	455	560	
h2	250	24 (壁体)	30d	300	390	480	(
h3	650						



定着長 L2		*折曲げ位置は梁幅の1/2を超えること			
コンクリート強度 F_c	L2	D10	D13	D16	規格
18 (土間・立上り)	40d	400	520	640	()
21	35d	350	455	560	()
24 (壁体)	30d	300	390	480	()



梁主筋の柱への定着



床版									
符 号	版 厚	位 置	短 辺 方 向 (主筋)	長 辺 方 向 (配力筋)	備 考				
S1	200	上端筋	D13-D16 ~ #150	D13 ~ #150	四辺固定床版				
		下端筋	D13 ~ #150	D13 ~ #150					
S2	200	上端筋	D13-D16 ~ #150	D13-D16 ~ #150	三辺固定長辺2方向床版 三辺固定短辺2方向床版				
		下端筋	D13 ~ #150	D13 ~ #150					
S3	200	上端筋	D16 ~ #150	D16 ~ #150	二隣辺固定二方向床版				
		下端筋	D13 ~ #150	D13 ~ #150					
cs1	200	上端筋	D13-D16 ~ #150	D13 ~ #150	片持ち床版				
		下端筋	D13 ~ #150	D13 ~ #150					

凡例	
	捨てコンクリート
	砕石地業
	防錆根巻コンクリート
	無収縮

梁伏図 1:100

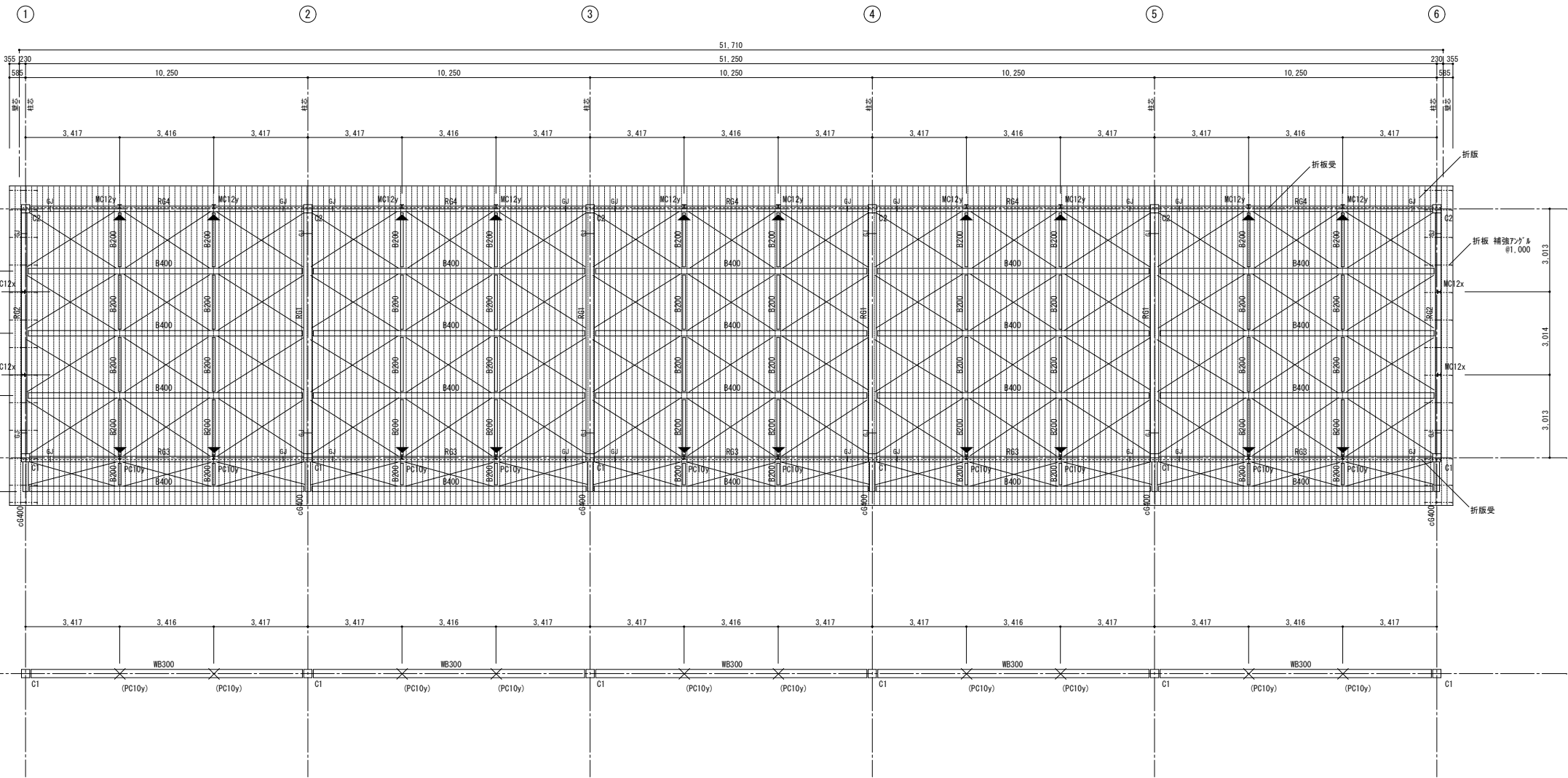
R6

B

A

中間層

A



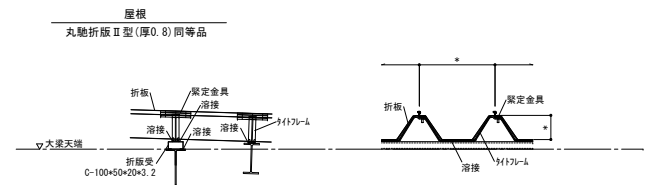
特記なきものは下記による


- ・変更のある場合は、設計者と事前協議のうえ承認を得ること
- ・小梁位置・*印寸法等は、施工詳細図により再確認のこと
- GJ — : 剛接合ジョイント位置(柱芯から900)を示す
- 納まりにより、現場調整または設計者と協議のこと
- 〓 — : 小梁仕口は、#A2列仕様とする

水平ブレース : H16 /取付位置は大梁上73ｼﾝｸﾞ 下面
(梁カブ)に取りつく場合はｽﾌﾗｯｼﾞを設けること

屋根葺き材の取付詳細図 (参考)

- ・*印寸法はメーカー仕様による
- ・施工にあたっては、採用メーカーにより再計算を行い、安全の確認をおこなうものとする
- ・性能値は JISA6514 の耐力性能試験結果より算出したものとする

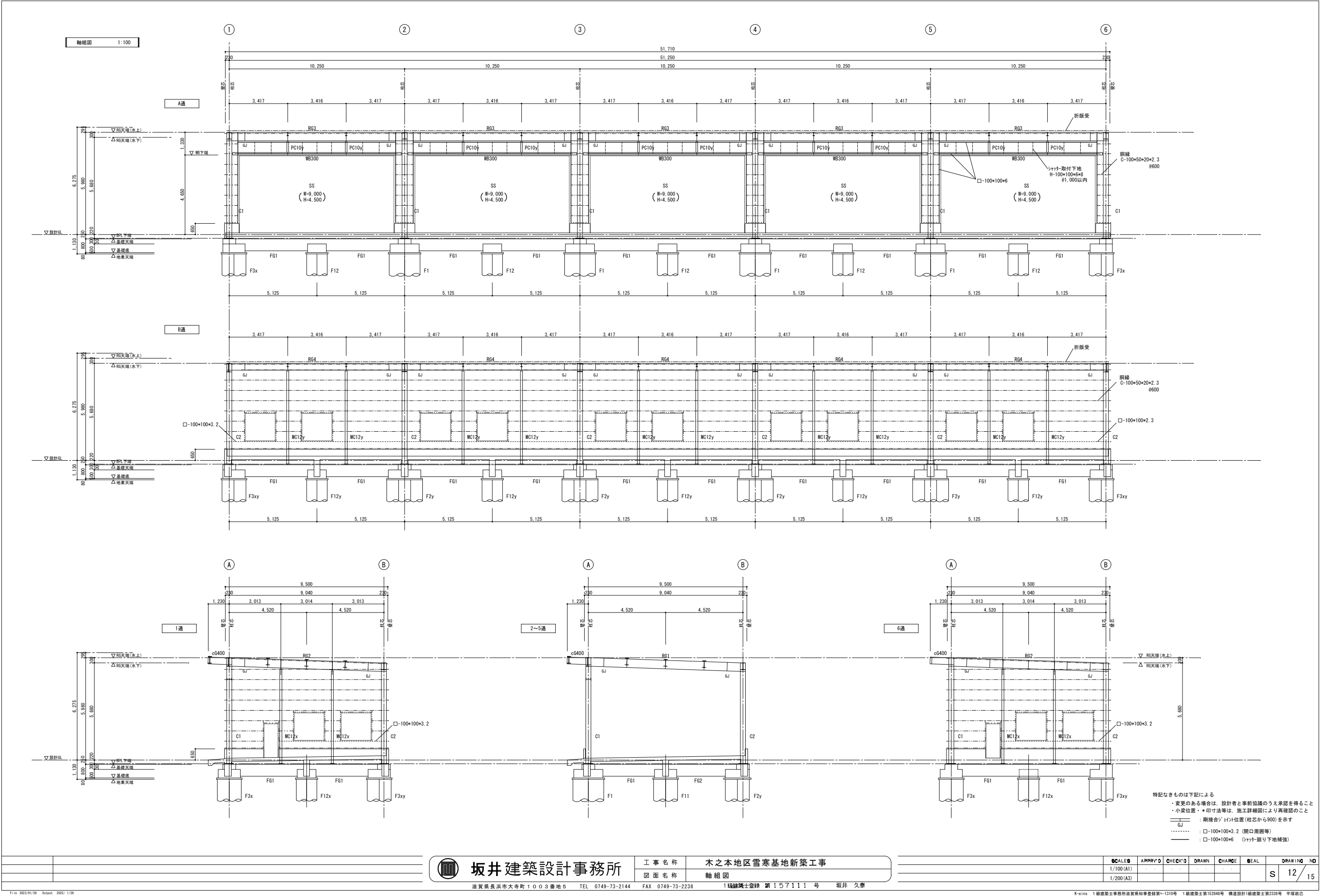




坂井建築設計事務所

工事名称	木之本地区雪寒基地新築工事
図面名称	梁伏図

SCALE	APPROV'D	CHECK'D	DRAWN	CHARGE	SEAL	DRAWING NO
1/100 (A1)					S	11 / 15
1/200 (A3)						



軸組図 1:100		1 級建築士登録 第 157111 号 坂井 久泰		SCALE	APPROV'D	CHECK'D	DRAWN	CHARGE	SEAL	DRAWING NO
		工事名称 木之本地区雪寒基地新築工事		1/100 (A1)						S 12 / 15
		図面名称 軸組図		1/200 (A3)						




File 2023/01/26 Output 2023/1/26

滋賀県長浜市大寺町1003番地5 TEL 0749-73-2144 FAX 0749-73-2238

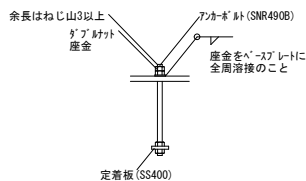
K-eins 1級建築士事務所滋賀県知事登録第1310号 1級建築士第152848号 構造設計1級建築士第2338号 平塚政己

特記なき λ レート類は、 $\$400$ とする
柱の添付符号“x, y”は母材または λ - λ レートの方向を示す。
柱の有効細長比(λ_{max})は200以下、その他の圧縮材は250以下であることを確認した
(構造計算書を参照のこと)

開柱				
符号	MC12x-y		PC10y	
断面				
鉄骨	H-125×125×6.5×9		H-100×100×6×8	
材質	SS400		SS400	
継手・仕口	PL-9, HTB 2-M20		G, PL-9, HTB 2-M16	
柱脚	在来露出柱脚		—	
有効軸長比 (λ max)	183.4		—	

小梁					
符号	B200	B400		WB300	
断面					
				(横使い)	
鉄骨	H-200×100×6.5×8	H-400×200×8×13		H-300×150×6.5×9	
材質	SS400	SS400		SS400	
継手・仕口	BJ200	BJ400		BJ300	

雑部材		普通鉄板は、厚止め(ワッシャー付シタ)鉄板または溶接または溶接(溶接)施工を行うものとする		
符号	断面	材質	備考	
折版	丸船折版Ⅱ型 厚0.8	SSC400		
	折版受 C-100*50*20*3.2			
鋼縁	C-100*50*20*2.3 @600	SSC400	ね:既製品またはPL-6 普通鉄板: 2-M12(張り止め施工)	
	□-100*100*6 (シャッター廻り補強材)	STKR400		
	□-100*100*3.2 (開口周囲等)			
水平ブレース	H16 M16 耐震ブレース(JIS A5540)	VJ16	SMR400B	

[illegible]

継手・仕口リスト 1:20

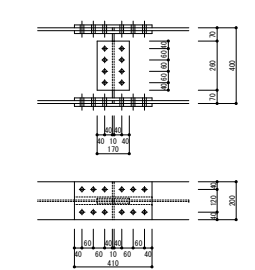
特記なきものは、下記による

<鋼 材>

S10T: S400 (添材等の部材は、母材の等級と同等級とする)
高力S10T (147形高力S10T)

GJ400

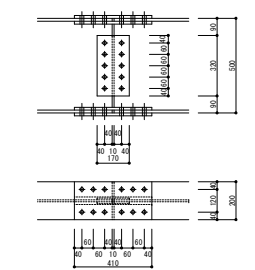
GGF-4X-J4020-0912-20
H-400*200*8*13・H-396*199*9*11
(SCSS-H97)



フランジ	24-M20・L=65	2PL-9*200*410 4PL-9* 80*410
ウェブ	8-M20・L=60	2PL-9*260*170

GJ500

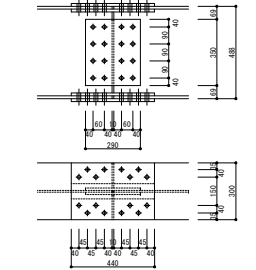
GGF-4X-J5020-0916-20
H-500*200*10*16・496*199*9*14
(SCSS-H97)



フランジ	24-M20・L=70	2PL-12*200*410 4PL-12* 80*410
ウェブ	10-M20・L=60	2PL-9*320*170

GJ488

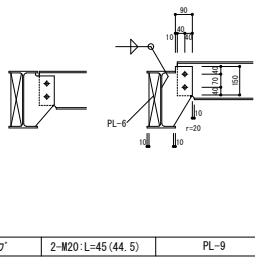
GGF-4X-J5030-1219-20
H-488*300*11*18
(SCSS-H97)



フランジ	32-M20・L=75	2PL-12*300*440 4PL-12*110*440
ウェブ	16-M20・L=65	2PL-12*350*290

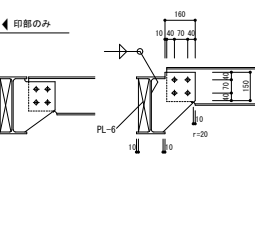
BJ200

H-200*100*5.5*8*8



ウェブ	2-M20・L=45 (44.5)	PL-9
-----	-------------------	------

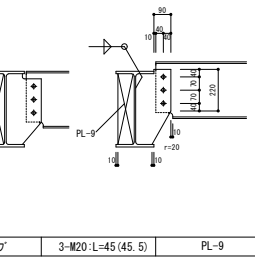
印刷のみ



ウェブ	4-M20・L=45 (44.5)	PL-9
-----	-------------------	------

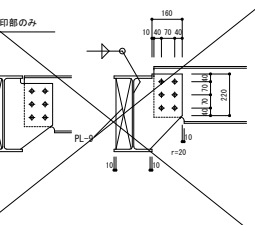
BJ300

H-300*150*6.5*9*13・H-298*149*5.5*8*13



ウェブ	3-M20・L=45 (45.5)	PL-9
-----	-------------------	------

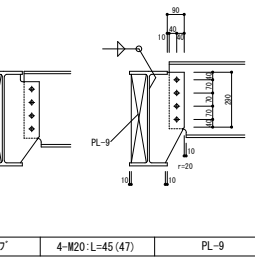
印刷のみ



ウェブ	6-M20・L=45 (45.5)	PL-9
-----	-------------------	------

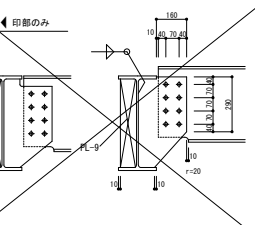
BJ400

H-400*200*8*13*13



ウェブ	4-M20・L=45 (47)	PL-9
-----	-----------------	------

印刷のみ



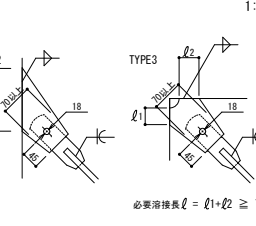
ウェブ	8-M20・L=45 (47)	PL-9
-----	-----------------	------

高力S10Tの長さは『公共建築工事標準仕様書』による

ねじの呼び	締付け長さ(単位:mm)	
	S10T	F8T, F10T
M12	—	25
M16	25	30
M20	30	35
M22	35	40
M24	40	45

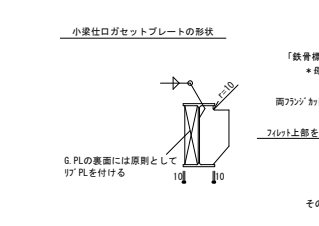
VJ16

耐震γ レース M16 (JIS A5540)



1-M16・L=40 (40)	6 PL-9
-----------------	--------

小梁仕口ガセットプレートの形状




「鉄骨標準図 5-2」 A147
*母材との段差が100より大きい場合

「鉄骨標準図 5-2」 A247
*母材との段差が100以下の場合

両フランジかつ
フレスト上部をわかし
100以上確保

その他のA17にする場合は、設計者と事前協議のうえ承認を得ること

 坂井建築設計事務所	工事名称	木之本地区雪寒基地新築工事
	図面名称	継手・仕口リスト

SCALE	APPRO'D	CHECK'D	DRAWN	CHARGE	SEAL	DRAWING NO
1/20 (A1)						S 14 / 15
1/40 (A3)						

File 2023/01/26 Output 2023/ 1/26

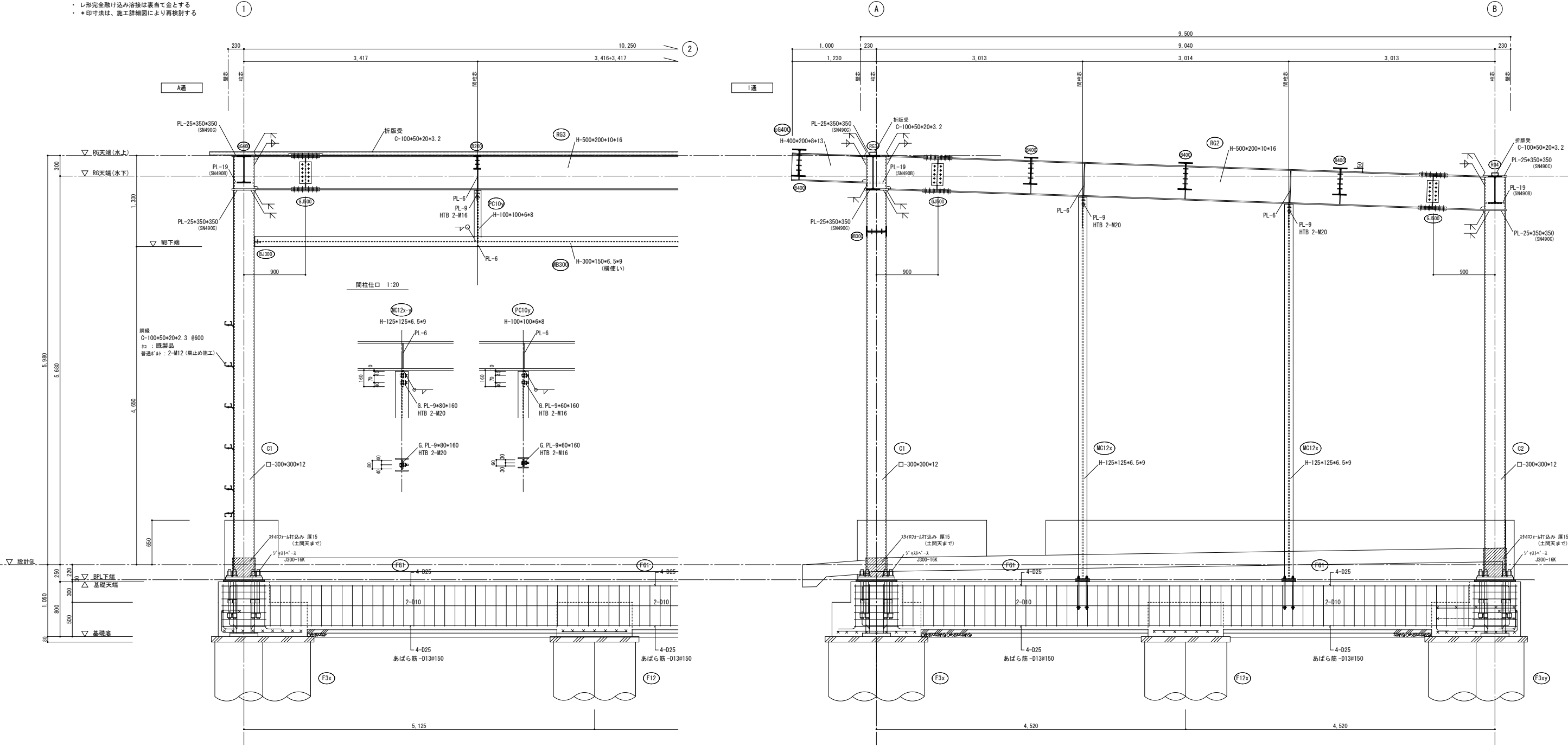
滋賀県長浜市大寺町1003番地5 TEL 0749-73-2144

FAX 0749-73-2238

1級建築士登録 第157111号 坂井 久泰

K-eins 1級建築士事務所滋賀県知事登録第1310号 1級建築士第152848号 構造設計1級建築士第2338号 平塚政己

- ・レ形完全融け込み溶接は裏当て金とする
- ・印寸法は、施工詳細図により再検討する



開先詳細図 1:2 パネルゾーン要領図 シヤット張り補強材

